秀賞

私を創りあげてくれた○○へ

岩手県陸前高田市立高田第一中学校
三年　及川七聖

大切な親友、大好きな音楽との出会い。そのきっかけを作ったのは、間違いなくあの東日本大震災です。

私の住む陸前高田市は、東日本大震災で壊滅的な被害を受けました。私の同級生にも、辛い思いをした人がたくさんいます。両親を亡くした人、住む家を失った人…。その中の一人の女の子が今の私の親友です。幼かった私には家族全員を亡くした彼女に対し、ただ一緒にいることしかできませんでした。そんな私が自分にできることを見つけたのが、中学一年生の総合学習のときでした。

「将来の夢」と題した発表会。彼女は凛とした声で、自分の夢を語りました。

「私の将来の夢は、歌手になることです。私は、両親とたった一人の姉を失い、何で私だけが生き残っているのか自分を責めていました。そんな私に力をくれたのが、音楽です。いつも力をくれた音楽で、今度は私が誰かに力をあげたい。」

その次に発表した同級生は、「亡くなった父のためにも警察官になりたい。」と力強く発表していました。堂々とした心に訴えかける発表。私は涙が止まりませんでした。辛い思いをしながらも、前に向かって進もうとする姿に。それと同時に「みんなの夢を応援したい。」という気持ちが心の底からわき上がってきました。

ただ、決意はしたもののどう動いたらいいのか分からない。時だけが過ぎていきました。そんな時、友人にある活動を一緒にしないかと誘われたのです。それが、「地域貢献活動」でした。これならみんなの夢を応援できる。私にもできることを見つけられると、参加を決意しました。

集まった中学生は十八人。私たちは、何度も話し合いを重ね、「ＦＡＣＥ」という地域貢献グループを立ち上げました。多くのものを失ったこの陸前高田の中で、地域のために中学生ができることをしていこうと、私たちは活動を月二回行っています。地元でウオークラリーイベントを開催したり、観光案内のパンフレットを作ったり、地元の施設やイベントへのボランティア参加をしたり、いろいろな活動を行ってきました。ＦＡＣＥのメンバーの中には、「この陸前高田に会社を立ち上げ、町を盛り上げたい。」「歌手になりたい。」などと夢を持っている人がたくさんいます。そんな仲間からの刺激は、私を大きく成長させてくれました。また、今まで知らなかった地元の良さを知ったり、地域の人々とのつながりを強くしたりと、たくさんの発見や学びがありました。正直忙しい時期もありましたが、こうやって活動してこられたのも、地域の皆さんの笑顔があったからです。笑顔に出会うたびに達成感ややりがいを感じてきたのです。

そして、ＦＡＣＥのつながりの中で、私は音楽の楽しさに出会いました。歌手の夢を持つ仲間に誘われ、始めたバンド活動。元々趣味で弾いていたピアノで参加した初めてのライブには、同級生の仲間、地域の大人がたくさん見に来てくれました。演奏を始めると真剣に聴き、終わると同時に温かい拍手がわき起こりました。この時の達成感は、今でも忘れられません。津波で流された町に新しくできた商業施設で行ったライブ。そこには多くの笑顔があふれていました。自分の頑張りで誰かを笑顔にできることを感じました。

こうやって地域貢献の活動をしている中で私が今思うこと、それはいかに自分が恵まれているかということ。今、こうして生きていることが奇跡なのだということ。私たちは、東日本大震災の時、世界中の方々から支援をしていただきました。今、こうして中学生となれたのは、あの時周りの人の支えがあったからです。しかし、私たちがテレビを見たり、友達と遊んだりしている時にも、今もなお世界中には、紛争や飢え、病気などで苦しんでいる人がいます。私は、助けられた命で、今度は誰かの命を助けたいと思っています。困っている人の力になりたい。私の今の夢は、医者になってたくさんの人を救うことです。

東日本大震災は、恐ろしい災害でした。しかし、あの後のつながりが、今の私にたくさんの出会いをもたらしてくれました。親友との出会い、ＦＡＣＥとの出会い、音楽との出会い、夢との出会い。たくさんの大切なものと出会えたから、今の私がいます。今私にできること。それは、亡くなった人たちの分まで生きること。支えてくれた人に恩返しをすること。

私は今、伝えたい思いがあります。私に今できることを教えてくれた出来事に、ＦＡＣＥの活動に、今生きているこの環境に、そして、いつも私のそばにいてくれるみんなに、この作品を読んでくれているあなたに。

ありがとう。